

2019 年度

中国留学報告書

実習先：北京師範大学

実習期間：8月26日（月）～12月28日（土）

新潟国際情報大学
国際文化学科
学籍番号：21018110
松川海斗

目次

1	留学先及び実習期間	3
2	留学先概要	3
3	留学目的	3
4	留学内容	4
	4 - 1 研修のスケジュール	4
	4 - 2 研修の詳細	5
5	所感	6
6	おわりに	7
	謝辞	7

付録

	留学日誌	8
--	------	---

1 留学先及び実習期間

研修先：北京師範大学 漢語文化学院

研修期間：令和元年 8 月 26 日（月）～令和元年 12 月 28 日（土）

2 留学先概要

(1) 大学について

中国の首都北京の海淀区に位置している。100 年以上の歴史を持ち、北京大学、清華大学、中国人民大学と北京四大大学とされている。世界各国から多くの留学生を受け入れている。師範大学ということで、特に教育系の分野に力を入れている。大学はとても広く、図書館や学食、体育館のような運動スペースなど、校内の施設が非常に充実している。特に図書館は非常に大きく、自習にも利用することができる。

(2) 大学で行われている教育について

留学生はまずクラス分けテストが行われ、それぞれのレベルに合ったクラスに配属される。1 クラス 20 人くらいの少人数で授業が行われる。そのため授業中に疑問点があると丁寧に解説してくれるなど、手厚いサポートを受けることができる。授業科目は、リーディング、スピーキング、リスニングの 3 科目ある。102 クラスになるとこの 3 教科に加え新聞の授業もある。そして中華才芸の授業では書道や太極拳などを体験することができる。このほかにも毎年北京市外への研修旅行が行われ、そこでは中国語だけでなく、その地域の文化を学ぶこともできる。

3 留学目的

今回の留学の目的は、中国語の能力の向上、検定試験の取得及び異文化交流である。日本での学習だけでは、授業数も少なく中国語を話す機会もあまり多くなく、実際に現地に行くことで日常的に中国語を話したり聞いたりして中国語の能力の向上を目指した。そして検定試験では HSK4 級の取得を目指した。

そして、他の国から来ている留学生との交流を深めることも目標の 1 つとした。彼らと一緒に生活することで自分の中国語能力の向上を目指した。さらにお互いの国について紹介することで中国語の能力の向上や異文化交流だけでなく、日本の文化や習慣についても考え直すいい機会と考え、これらのことを今回の留学の目的とした。

4 研修内容

以下から研修の内容を記述する。

研修期間中に行った活動の詳細は付録に記載する。

4 - 1 研修のスケジュール

研修期間中のスケジュールは以下のとおりである。

月	日 (曜日)	午前	午後
8	26 (木)	出国	到着、入寮
	27 (火)、28 (水)	銀行口座開設、携帯電話購入 入学手続き	
	29 (木)	クラス分けテスト	
	30 (金)	留学生入学式	
9	1 (日)	クラス分け発表	教科書販売
	2 (月)	授業開始	
	13 (金) ~ 15 (日)	中秋節	
	14 (土)	日中学生交流会	
10	1 (火) ~ 7 (月)	国慶節 内モンゴルツアー	
	31 (木)	中間テスト	
11	1 (金)		
	3 (日) ~ 8 (金)	黄山文化考察	
12	1 (日)	HSK 汉语水平考試	
	15 (日)		北京の夜
	23 (月) ~ 24 (火)	期末テスト	
	27 (金)		留学生修了式
	28 (土)	帰国	

4 - 2 研修の詳細

スケジュールに記載してある各項目の内容は以下のとおりである。

i) 銀行口座開設、携帯電話購入

現在中国の支払いは電子マネーで行われており、現金はほとんど使われていない。そのためまずは中国銀行で口座の開設、携帯電話の購入が必要である。

ii) クラス分けテスト

中国語のレベルによってクラスが分けられる。試験内容はリスニング、文法、ライティング、面接である。このテストの結果によって 101 クラス、または 102 クラスへ配属される。

iii) 日中学生交流会

北京師範大学の日本語学科の学生との交流で、お互いに出し物を出し合ったりした。

iv) 国慶節

中華人民共和国建国の建国記念日である。一週間授業は休みで、この期間に北京観光などを楽しめる。内モンゴルツアーもこの期間に行われる。

v) 内モンゴルツアー

中国北部の内モンゴル自治区へのツアーであり、草原での乗馬やゲルでの宿泊などが楽しめる。様々な体験を通じて内モンゴルの文化も知ることができる。

vi) 中間テスト

テスト科目はリーディング、スピーキング、リスニングがある。スピーキングは筆記と口述試験があり、102 クラスはスピーキングの筆記試験がないかわりに、新聞のテストがある。

vii) 黄山文化考察

安徽省黄山市への研修旅行。現地の中学生との交流や、黄山市の文化を学ぶ。黄山の登山も行った。毎年研修先は異なる。

viii) 北京の夜

北京師範大学の留学生が歌やダンスなどを披露するイベントである。

ix) 留学生修了式

留学生の修了式である。ここで各クラスの成績優秀者が表彰される。そして成績表も配布される。

5 当初目的・目標への達成度

今回の研修の目的の達成度について、それぞれまとめる。

(1) 中国語能力の向上

最初は授業の中国語を聞き取ることもできず、クラスメイトとの会話も英語を使用していたが、毎日中国語を聞いているうちに自然と聞き取れるようになり、クラスメイトとの会話も中国語を使用してできるようになっていた。そして目標としていた HSK4 級の取得もできた。これらのことから、中国語能力が向上したと実感できた。

(2) 異文化交流

北京に着いて最初の数週間は、日本との文化との違いに驚き、カルチャーショックを受けていたが、生活していくうちに中国の文化を受け入れられるようになっていった。また、

今回の留学では中国人だけでなく、様々な国の留学生と交流することができた。そのため中国の文化だけでなく、様々な国の文化や習慣も知ることができた。また彼らも日本の文化について興味を持って聞いてくれた。彼らとの交流の中で見分を広めることができ、非常に有意義な異文化交流ができた。

6 反省・課題

今回の留学では、中国語能力の向上と異文化交流という 2 つの目標は達成できた。そして他の国の留学生と交流することで言語を学ぶ楽しさというものを実感できた。

しかし外国人との交流の中で自分の国の文化や歴史などをもっと知っておく必要があると感じた。お互いの国の文化について話しているとき答えられないという場面が何度かあった。中国の文化や、外国の文化だけを学ぶのではなく、その前にもう一度自分の国の文化や歴史を見直してみることも重要だと感じた。

謝辞

今回の留学では多くの方々からご支援をいただきました。留学の手続きをしてくださった学務課の方々、北京師範大学でお世話をしていただいた罗さん、留学の指導、サポートをしてくださった佐藤若菜先生、區建英先生に心より感謝いたします。そして今回このような中国留学という貴重な機会を与えてくださり、新潟国際情報大学よりいただいた奨学金のおかげで留学に参加することができました。心より感謝申し上げます。

付録：留学日誌

8月26日 木曜日
出発 新潟空港
内容 ・新潟空港で集合 ・新潟空港から成田空港まで飛行機で移動 ・成田空港から北京首都空港まで飛行機で移動 ・北京首都空港から北京師範大学までバスで移動

移動の所感

成田から北京まで飛行機で約 3 時間かかった。この日は空気の汚染がひどく、とても驚いた。

8月27日、28日 火曜日、水曜日
銀行口座開設、携帯電話購入、入学手続き
<p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国の支払いはほとんどが電子マネーのため、銀行口座開設と携帯電話購入は必須 ・入学の手続き、学生証の配布

所感

他の留学生もこの時期に手続きに来るので非常に混雑している。

8月29日 木曜日
クラス分けテスト
<p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このテストの結果によってクラスが決まる

所感

テストの内容は少し難しめだった。面接試験は自分のことについて聞かれるので、筆記試験と比べると簡単である。

9月14日 土曜日
日中学生交流会
<p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北京師範大学の日本語学科の学生との交流 ・お互いに出し物をする

所感

日本についてのクイズを出したが、中国人の学生は日本のことをよく知っていて嬉しく感じた。

10月3日、4日、5日 木曜日、金曜日、土曜日
内モンゴルツアー
<p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内モンゴル自治区へのツアー ・中国北部の内モンゴル自治区の文化を学ぶことができる

内モンゴルツアーの具体的内容および所感

北京市内の他の大学に留学している日本人学生も参加する。2泊3日のツアーである。

1日目は草原に行き、乗馬体験をして、ゲルのような建物で宿泊をした。気温が非常に低い中での乗馬体験なので防寒対策をしっかりとる必要がある。初めて内モンゴル自治区料理を口にしたが、あまり好みの味付けではなかった。

2日目は砂漠へ行った。そこでゴンドラに乗ったりラクダに乗ったりすることができる。砂漠のきれいな景色を楽しむことができる。この日に食べた羊肉のしゃぶしゃぶは絶品であった。

3日目は自然科学博物館のようなところへ行った。化石の展示や、はく製などが多く展示されていた。そして内モンゴル自治区の工芸品のようなものをお土産として買うこともできる。

この旅行に参加することで貴重な体験をすることができた。このような地域に行ける機会はなかなかないので、ぜひ参加して欲しい。

11月3日(日)～11月8日(金)
黄山文化考察
研修内容 ・中国安徽省黄山市への研修旅行 ・中国南部の安徽省の文化を学ぶことができる

黄山文化考察の具体的内容および所感

中間テスト後に行く黄山市への研修旅行。旅行先は毎年異なる。北京から安徽省まで火车で移動した。この旅行の参加費は1000元ととても安い。

この旅行では製紙工場や墨の工場に行った。ここでは昔ながらの方法で紙や墨を製造しているところを見学できる。また実際に紙作りを体験できる。

そしてこの旅行では黄山市の歴史的な街並みを楽しむこともできる。黄山市内を観光しながらこの地域の文化や歴史などを学ぶことができた。

さらに現地の中学校に行き、ここでは中学生との交流も楽しむことができた。この旅行に参加したことでとても充実した異文化交流を体験することができた。

12月27日 金曜日
留学生修了式
内容 ・留学生の修了式

・卒業証書、成績表の配布

所感

この日が学校の最後の登校日となった。クラスメイトと交流できる最後の日であった。



